〈解答〉

- 1 1 〔例〕Yes, she did.
 - 2 カ
 - 3 ウ
 - 4 〔例〕 真奈は日本の森について何も知らず、それらについて何も話せなかったから。(35字)
 - 5 a 〔例〕 Forests give us a lot of things.
 - b [例] We need to learn about forests.

配点 12、3は各1点、他は各2点 10点満点

〈解説〉

1 〈長文和訳〉

昨年の夏、私はカナダを訪問し、ホストファミリーのところに1か月滞在しました。その家族は山の多い小さな町に住んでいました。私のホストファーザーは「私たちの町へようこそ、真奈。この町は美しい山々で有名です。どうぞ滞在を楽しんでね」と言いました。私は「ありがとうございます、グリーンさん。私は日本の熊本の、山の近くのA「小さな」町から来ました。この町は私の町のようなので、私はうれしいです」と言いました。カナダに滞在中、ホストシスターのサリーは、しばしば私を町のいくつかのおもしろい場所に連れて行ってくれました。

ある日、サリーと私は美しい森に行きました。私たちはそこで何人かの人々を見かけました。彼らは森で働いているところでした。私はサリーに「彼らは何をしているのですか?」と言いました。サリーは「彼らは木の世話をしているのです。彼らは森を育てるために雑草を抜き、ごみを拾っています」と言いました。私は何人かの男の子と女の子がいるのを見つけました。彼らはほかの大人たちと働いていました。私は「若い人が何人かいます。彼らも働いているのですか?」と言いました。サリーは「はい。彼らは大人たちを手伝っています。彼らはボランティアです。私も時々彼らを手伝うのよ。彼らは今、苗木を植えています。今日、あなたはここで苗木を何本か植えることができます。B「やってみ」たいですか?」と言いました。

私は苗木を植えました。 それは私の初めての経験でした。 木を植えることは私には少し難しかったですが、とても楽しかったです。木を植えたあと、サリーは日本の森について私にたずねました。それらについて何も知らず、何も話せないので、①私は答えることができませんでした。私は彼女に「約40年前、山で働くために熊本の私の町には多くの人がいました。しかし、今はそれほど多くの人がいません。私は父からその問題について聞きました」と言いました。それからサリーは言いました。「森は空気と水を新鮮にします。それらはまた、自然災害から私たちを守ります。だからカナダでは、人々は毎年森を育てるために苗木を植えています」私はサリーから多くのことを学びました。

熊本に帰った後、私は友達にカナダでの経験を話しました。しかし、彼らは森の重要

性についてあまり知りませんでした。森は私たちにたくさんのものを与えてくれます。私 たちは森について学ぶ必要があります。

- 1 問いは「真奈は木を植えるのを楽しみましたか」という意味。第3段落1~2行目 に、「木を植えることは…とても楽しかったです」とある。よって、
 - → Yes, she did. (3語)

と答える。

- 2 A 空所の前後は、「私は日本の熊本の、山の近くの A 町から来ました。この町は私の町のようなので~」という意味。第1段落1~2行目に、滞在する町のことを a small town と言っているので、この空所にも small が入る。
 - B 空所を含む文は、「~したいですか」という意味。 苗木を植えるボランティア活動を説明している場面なので、「やってみる」という意味を表す動詞 try が入る。 AとBの組み合わせから、両方に適当なものはカとわかる。
- 3 挿入する英文は「それは私の初めての経験でした」という意味。It が指している内容として適切な真奈の行動がある第3段落のウに入れるのが適当。
- 4 同じ文の because 以下の内容をまとめる。
- 5 a 「森は私たちにたくさんのものを与えてくれます」
 - ①肯定文
 - ②時制:現在
 - ③主語:森は

動詞:与える

主語は forests, 動詞は give を使う。「(人) に(もの)を与える」は〈give + (人) + (もの)〉で表す。

まとめると.

→ Forests give us a lot of things.

また、 $\langle \text{give} + (\text{もの}) + \text{to} + (\text{人}) \rangle$ の形を使って

- → Forests give a lot of things to us. とまとめることもできる。
- b 「私たちは森について学ぶ必要があります」
 - ①肯定文
 - ②時制:現在
 - ③主語:私たちは

動詞:学ぶ必要がある

主語はwe, 動詞は「必要がある」need を使い,「学ぶこと」to learn を続ける。 「森について」は about forests と表す。

まとめると、

→ We need to learn about forests.

となる。

need to は have to や助動詞の must, should を使ってもよい。